

<R6児童アンケートの結果に関する考察>

○Aランク+Bランクが90%を越える項目が多く、軒並み良好な学校生活を送ることができている。ただし、昨年度に比べると、AランクからBランクに下がったものも多い。

○「学校へ行くのは楽しい」と肯定的に答えている児童が95%とかなり高い。今後も児童が「学校が楽しい」と思える学校経営をめざしていく。ただ、若干ではあるが「やや楽しくない」と思っている児童もいる。そのことも常に意識しながらその原因を取り除く工夫や努力をしていく。

○「タブレットを使って学習するのは楽しい」の項目が肯定的にとらえている児童が97%と非常に多い。一人1台のタブレット端末を使用する頻度が高まっているからであろう。しかし、タブレット端末の故障や不具合、未充電などのトラブルもあることなどから、ICT活用能力に差が生じないように授業改善を進めていきたい。

○先生（教員）に対する評価が、いずれの項目も高い。教職員と児童との信頼関係が築けているためだと考えられる。授業や生徒指導を行う上で、最も大切となる基盤が構築できている。日頃の地道な努力が現れたと言えるだろう。

○「先生や友だち、地域の人に元気よくあいさつをしている」の項目はポイントが、昨年度に比べ、さらに1ポイント向上している。今後も継続して取り組み、元気よくあいさつすることが苦手と感じている児童を支えていきたい。

△「進んで学習や読書に取り組んでいる」の項目はポイントが、昨年度に比べ、高評価が17ポイント減った。自主的に学習や読書に向かう習慣をいかに身につけさせていかかということが大きな課題である。

△「授業で自分の考えを発表している」および「自分の考えを説明したり、書いたりするのは好きである」の項目はポイントが、昨年度に比べ、いずれも高評価が14ポイント減少した。授業方法に工夫を加え、発表や説明など表現力や積極性を育てていかなければいけない。

△「ろうかを走ったり、教室であばれたりしていない」および「トイレのスリッパをそろえている」の項目が、昨年と比べいずれも下落した。学級での整理整頓や清掃活動などとともに、公共物を大切に使用したり、美化に努めるなど公共心の向上を図りたい。